

2007 年 4 月

各 位

筑波大学大学院 生命環境科学研究科
加 藤 衛 拡
徳川林政史研究所
太 田 尚 宏

国有林史料をめぐる研究会のご案内

春陽の候、皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

これまで6年間にわたり、筑波大学を中心とする東北国有林史研究グループと徳川林政史研究所とが共同して、全国の森林管理局にお世話になり、その歴史的資料を調査して目録化を図って参りました。その一端を報告するため、下記の研究会を企画いたしましたのでご案内申し上げます。

記

テーマ：「国有林史料の保存と活用にむけて」

私たちは、2001 年度より全国の森林管理局が所蔵する史料調査を実施し、史料目録を作成している。調査の対象は林政統一までの歴史的資料に限定したが、所蔵点数の多い局では3千点～1万点を数えることができる。藩政史料から連続して保存している局もあり、国有林史研究はもとより、広く近世・近代の地域史、鉱山史、環境史の分野にとっても貴重な史料群である。今回は私たちの調査の現状と、各森林管理局の史料の特徴を明らかにし、今後の活用に向けて検討したい。

座長：脇野 博（秋田工業高等専門学校）

第1報告：「国有林史料の保存経緯と所在調査」加藤衛拡（筑波大学）

第2報告：「官林の直轄化と秋田県」成田雅美（筑波大学）

第3報告：「御料林の形成・展開と木曽地方」田原 昇（徳川林政史研究所）

第4報告：「九州森林管理局調査と所蔵史料の特徴」太田尚宏（徳川林政史研究所）

日時：2007 年 5 月 19 日（土）13:30 ～ 16:30

会場：東京大学農学部 1 号館 2F 8 番講義室

参加費：500 円

主催：林業経済学会、地方史研究協議会、徳川林政史研究所

共催：日本農業史学会、林業経済研究所

責任者：加藤衛拡

（筑波大学 大学院 生命環境科学研究科）

kato@sakura.cc.tsukuba.ac.jp